

2025年3月期 中間決算説明資料

2024.04.01 - 2024.09.30

2024年10月29日

Securities Code 4290

 **PRESTIGE INTERNATIONAL**



既存事業の成長により増収

- 主力のオートモーティブ事業の成長を軸に、プロパティ事業、グローバル事業、金融保証事業が堅調に推移

ワクチン関連業務による 営業利益への影響

- ワクチン関連業務を除いた既存事業の前年同期比
売上高：+11.2% | 営業利益：+12.3%
*P30「参考情報 | ワクチン関連業務の業績影響」を参照

青森県三沢市へ進出決定

- 青森県および三沢市と基本協定締結
- 青森BPO三沢ブランチ(仮称)を2025年4月開業予定

- **2025年3月期 中間期 決算サマリー**
- **2025年3月期 中間期 事業別業績サマリー**
- **株主還元**
- **サステナビリティ**
- **Appendix**



■ 2025年3月期 中間期 決算サマリー

2025年3月期 中間期 連結業績サマリー

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2024.3 Q2	FY2025.3 Q2	YoY (%)	通期予想	vs.通期予想 進捗率
売上高	28,763	30,770	+2,006 (+7.0%)	63,000	48.8%
営業利益	3,857	3,729	△127 (△3.3%)	8,000	46.6%
経常利益	4,071	3,961	△110 (△2.7%)	8,500	46.6%
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	2,357	2,231	△126 (△5.3%)	5,300	42.1%

- 売上高 主力のオートモーティブ事業が継続的に成長し、プロパティ事業、グローバル事業、金融保証事業が堅調に推移し、成長を維持。
- 営業利益 ワクチン関連業務の終了により、計画の範囲内での減益となるが、第1四半期に比べ減益幅は縮小。
- 経常利益 為替差損及び持分法による投資利益の減少が影響し、わずかに減益。

2025年3月期 中間期 連結損益計算書

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2024.3 Q2	FY2025.3 Q2	増減	YoY(%)
売上高	28,763	30,770	+2,006	+7.0%
売上原価	22,059	24,113	+2,054	+9.3%
売上総利益	6,704	6,656	△47	△0.7%
売上総利益率	23.3%	21.6%	(△1.7pt)	—
販売費及び一般管理費	2,846	2,927	+80	+2.8%
営業利益	3,857	3,729	△127	△3.3%
営業利益率	13.4%	12.1%	(△1.3pt)	—
経常利益	4,071	3,961	△110	△2.7%
経常利益率	14.2%	12.9%	(△1.3pt)	—
親会社株主に帰属する 中間期純利益	2,357	2,231	△126	△5.3%

2025年3月期 中間期 連結貸借対照表

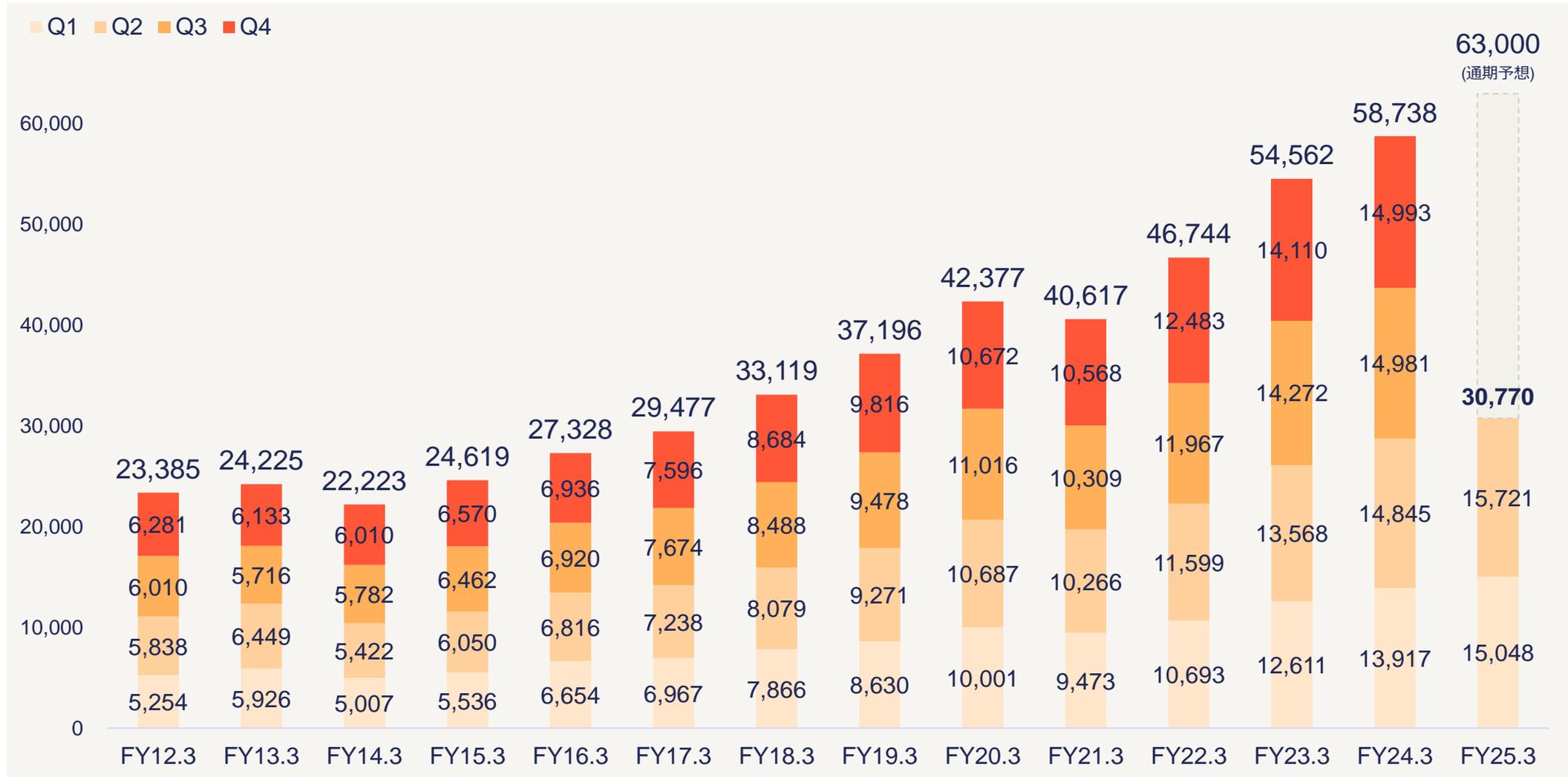
(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	2024年3月末	2024年9月末	増減	増減(%)
流動資産	40,740	40,523	△216	△0.5%
固定資産	27,096	28,729	+1,633	+6.0%
資産合計	67,836	69,253	+1,417	+2.1%
流動負債	17,778	18,032	+253	+1.4%
固定負債	2,832	2,723	△109	△3.9%
負債合計	20,611	20,755	+144	+0.7%
株主資本	40,603	42,155	+1,552	+3.8%
その他の包括利益累計額	3,418	2,956	△461	△13.5%
非支配株主持分等	3,203	3,385	+181	+5.7%
純資産合計	47,224	48,497	+1,273	+2.7%
負債純資産合計	67,836	69,253	+1,417	+2.1%

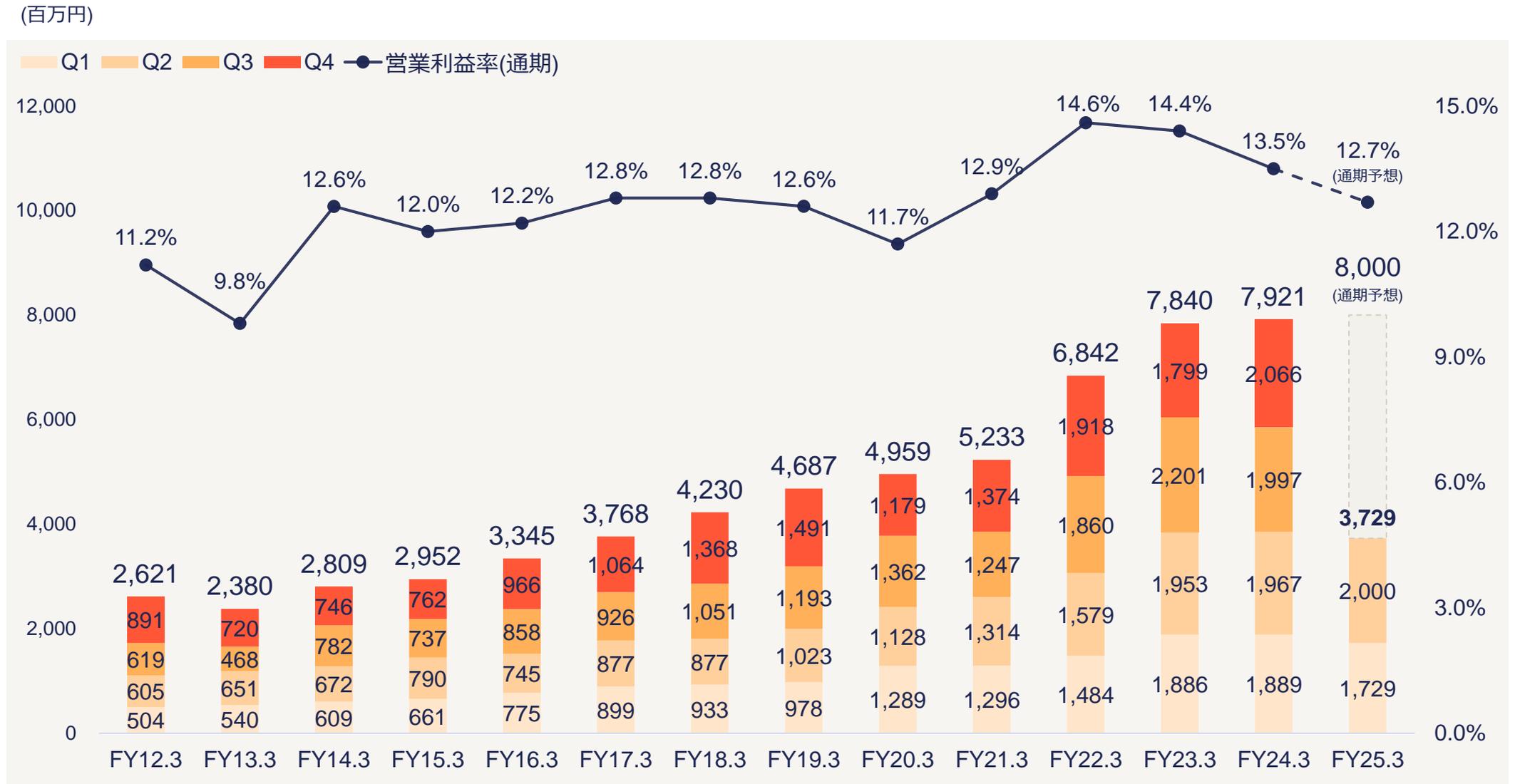
四半期売上高推移

(百万円)



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

四半期営業利益推移



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。



■ 2025年3月期 中間期 事業別業績サマリー

2025年3月期 中間期 事業別業績サマリー

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

		FY2025.3 Q2 売上高	YoY (%)	vs.通期予想 進捗率	FY2025.3 Q2 営業利益	YoY (%)	vs.通期予想 進捗率
	オートモーティブ	13,319	+1,085 (+8.9%)	47.6%	1,645	+142 (+9.5%)	45.6%
	プロパティ	4,011	+496 (+14.1%)	51.8%	254	+27 (+12.0%)	35.8%
	グローバル	4,297	+357 (+9.1%)	49.8%	552	+143 (+35.0%)	57.5%
	カスタマー	3,323	△977 (△22.7%)	46.9%	296	△480 (△61.9%)	41.7%
	金融保証	5,061	+773 (+18.0%)	49.5%	1,138	+110 (+10.7%)	49.1%
	IT	420	+237 (+129.7%)	84.0%	57	+36 (+166.1%)	71.3%
	ソーシャル	335	+34 (+11.6%)	39.0%	△213	△95 (—)	—
合計		30,770	+2,006 (+7.0%)	48.8%	3,729	△127 (△3.3%)	46.6%

FY2025.3 | Q2

売上高 **13,319** 百万円

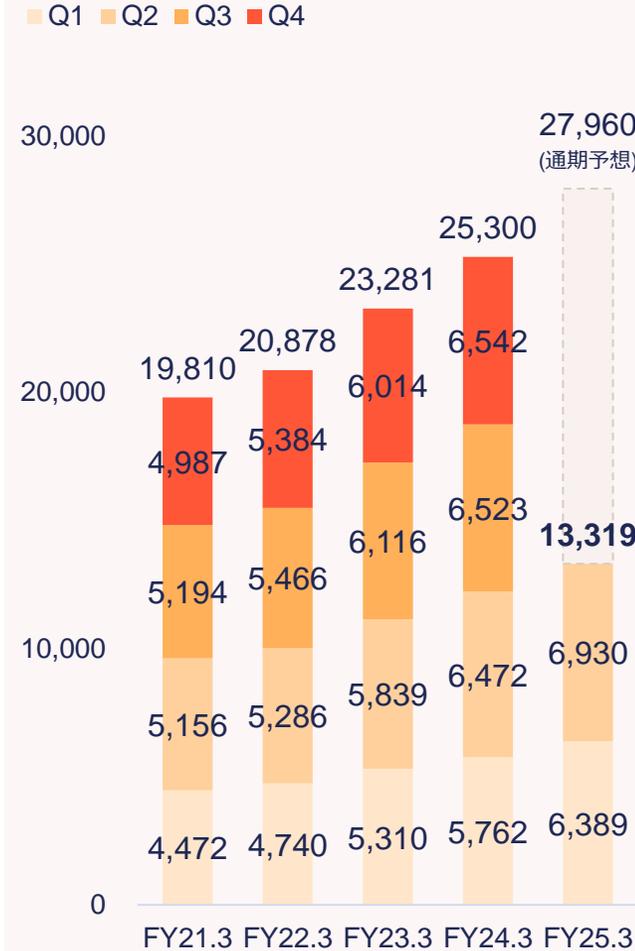
YoY(%) (+8.9%)

営業利益 **1,645** 百万円

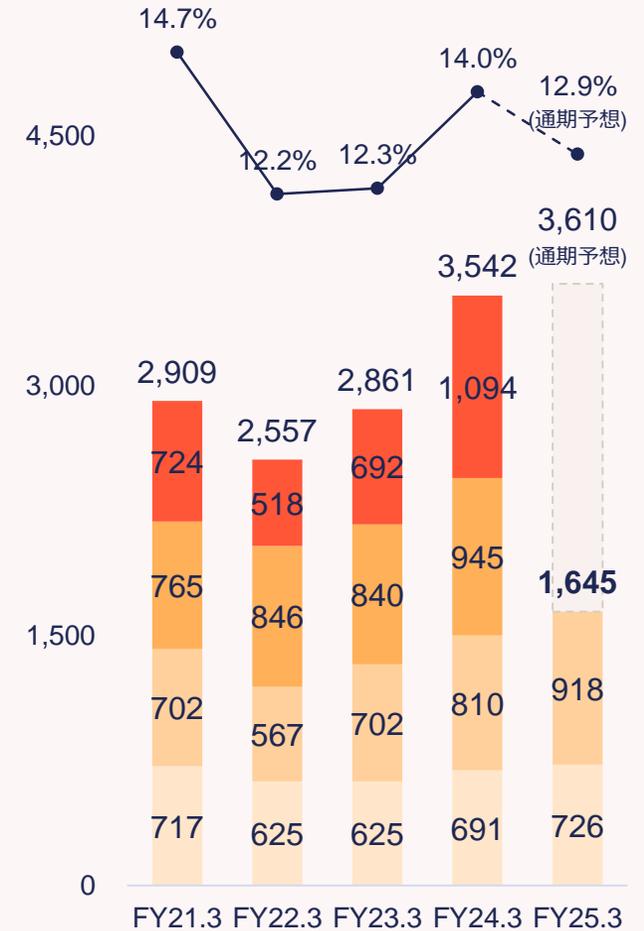
YoY(%) (+9.5%)

- 自動車メーカー系を中心に、価格改定など収益改善が進捗し増収。
- 一部自動車損保において、手配件数が増加したが、全体では収益性が改善されず、前年並み実績に留まった。
- 自転車向けロードサービスにおいては、出動件数が前年同期比で減少傾向となった。
- コールセンター業務の品質向上に向けた増員と教育、駆け付けサービス要員の増加によるコスト増を、増収により吸収し増益。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)・営業利益率



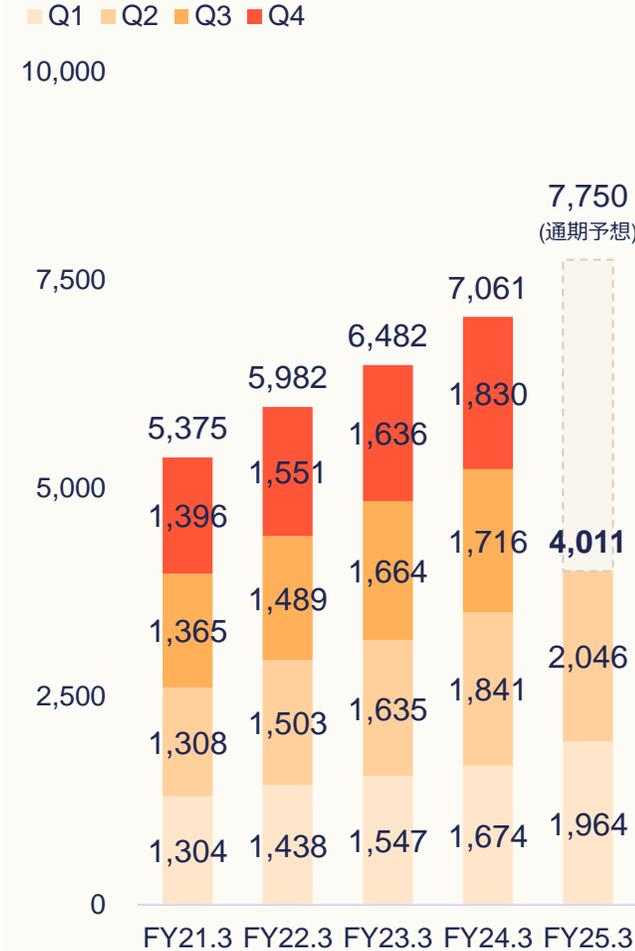
表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2025.3 | Q2

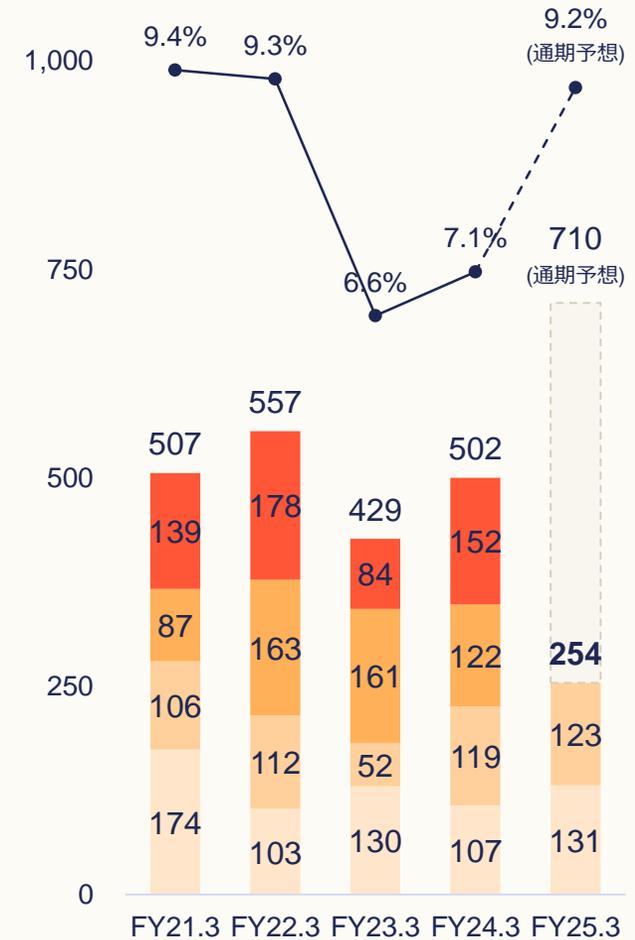
売上高	4,011 百万円
YoY(%)	(+14.1%)
営業利益	254 百万円
YoY(%)	(+12.0%)

- ホームアシスト事業において、賃貸住宅向け駆けつけサービスが開始され増収。
- パークアシスト事業において、対応地域及び管理事業地の拡大により増収。
- 両事業とも増員や工事費用などの外部支払いの増加を、増収に伴う利益拡大及び生産性向上により吸収し増益。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)・営業利益率



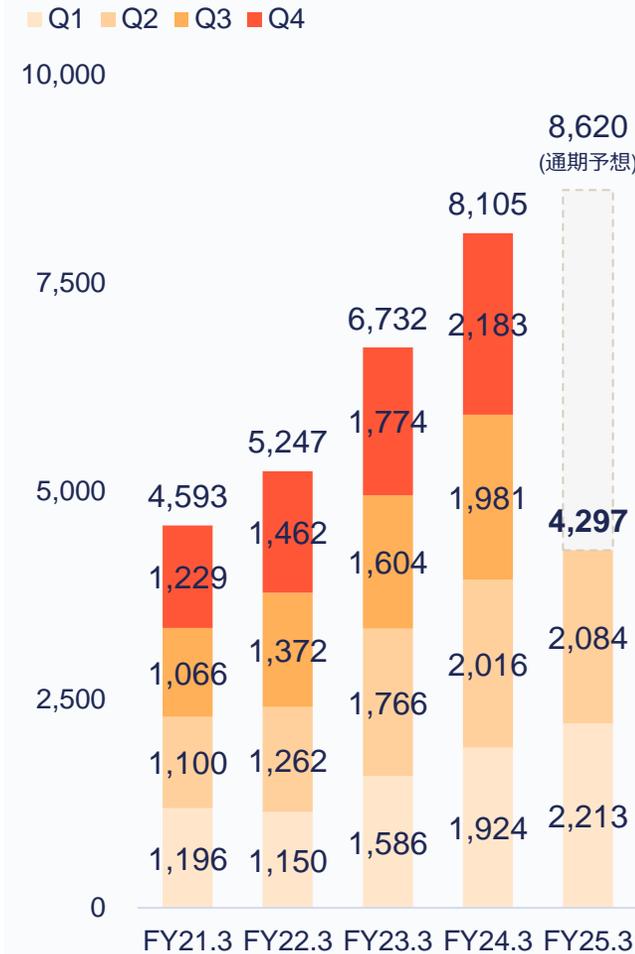
表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2025.3 | Q2

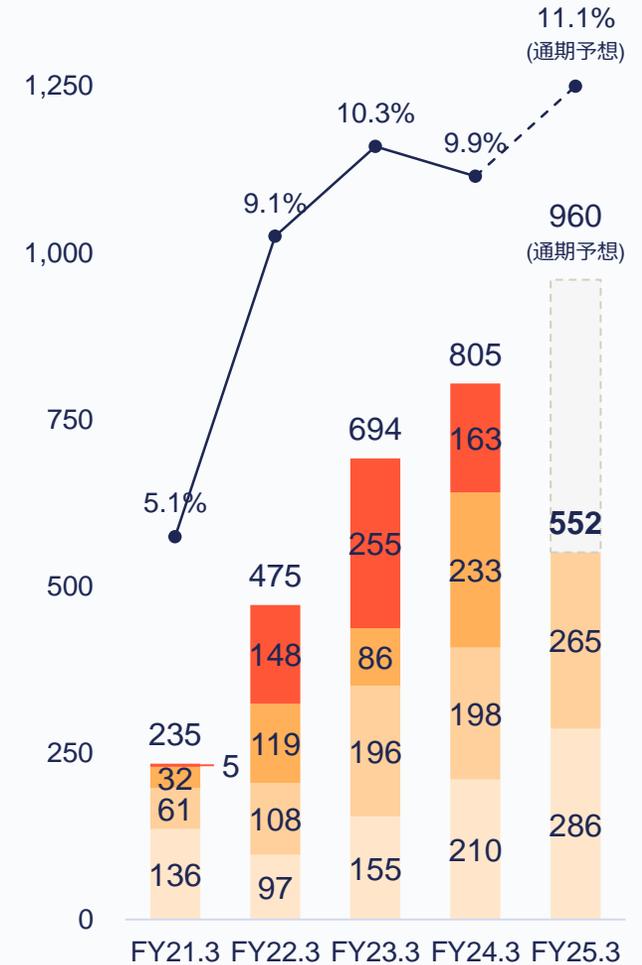
売上高	4,297 百万円
YoY(%)	(+9.1%)
営業利益	552 百万円
YoY(%)	(+35.0%)

- ヘルスケアプログラムの価格改定や、新規契約社数及び契約人数の継続的な増加に加え、海外旅行保険付帯サービスの対応件数の増加により増収。
- 米国のクレジットカード事業ではカード会員数は増加したにも関わらず、利用額の伸び悩みと為替変動の影響で減収減益となったが、他の既存サービスが堅調に成長したため、グローバル事業全体では増収増益となった。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)・営業利益率

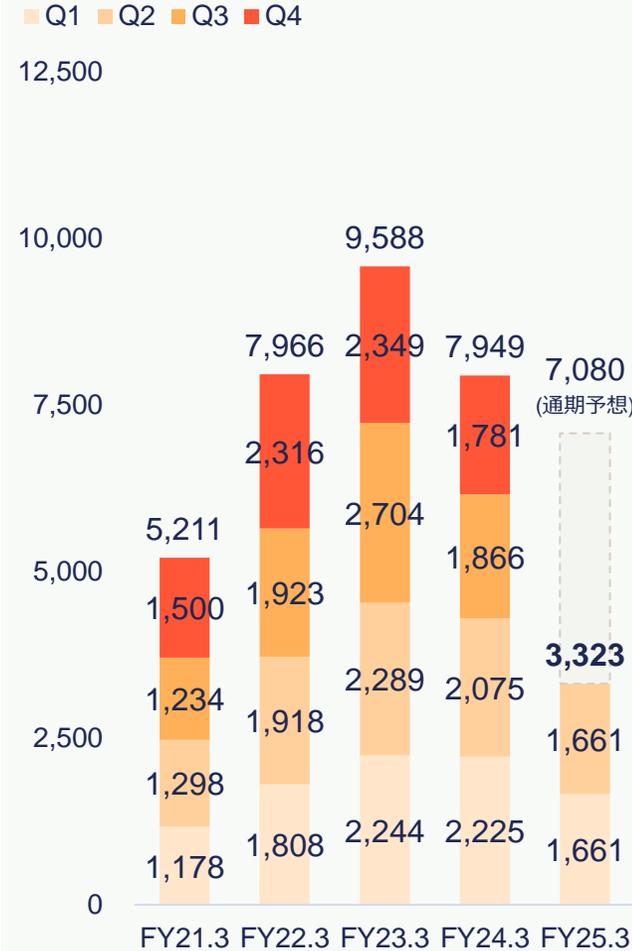


表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

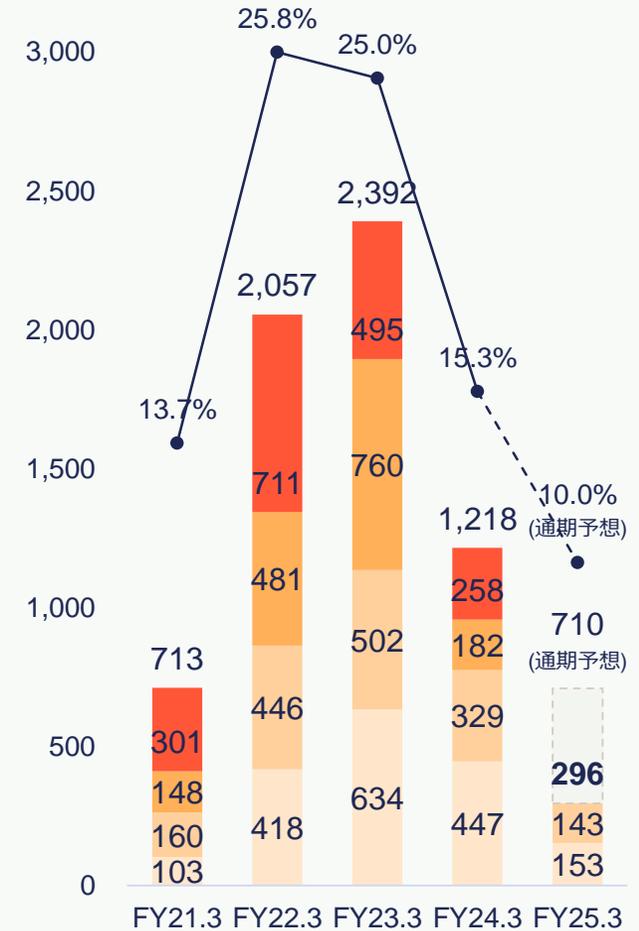
FY2025.3 Q2	
売上高	3,323 百万円
YoY(%)	(△22.7%)
営業利益	296 百万円
YoY(%)	(△61.9%)

■ ワクチン関連業務が前期までにすべて終了したことにより、減収減益。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)・営業利益率



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2025.3 | Q2

売上高 **5,061** 百万円

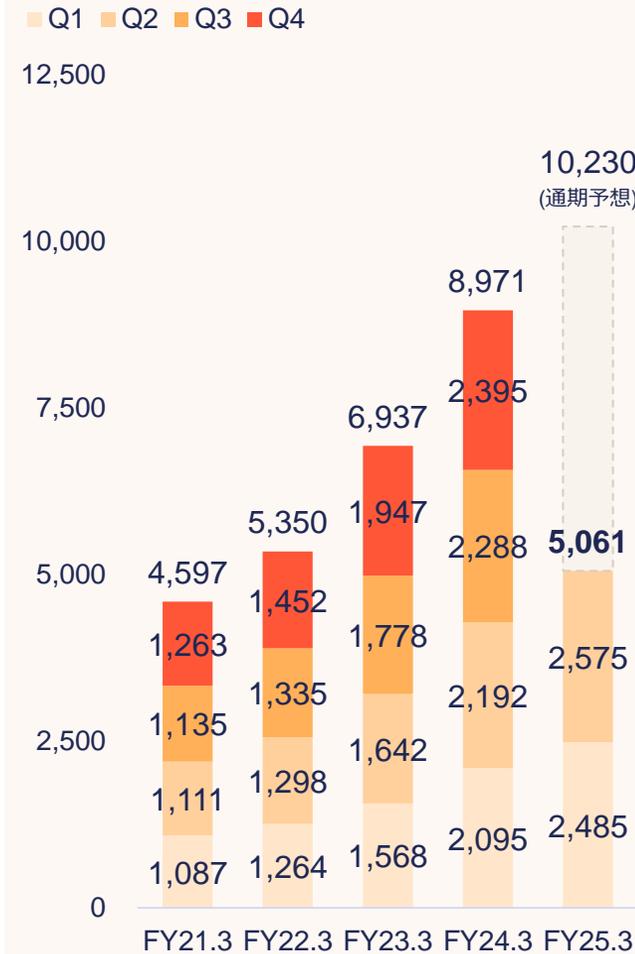
YoY(%) (+18.0%)

営業利益 **1,138** 百万円

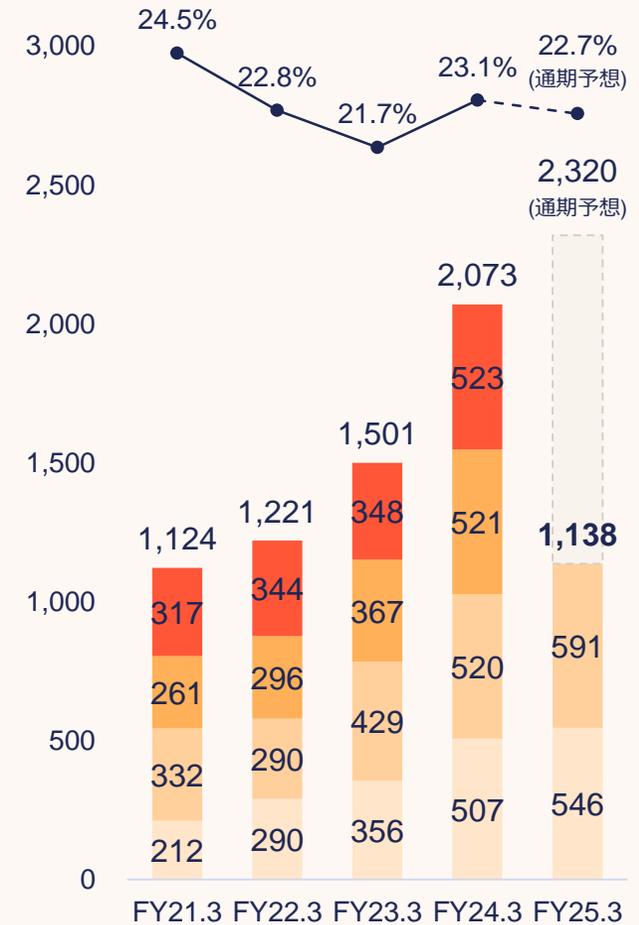
YoY(%) (+10.7%)

- 家賃債務保証事業にて、新規獲得、契約更新が好調に推移した事に加え、管理・代行業務のみの提供から債務保証を加えた総合サービスへ移行が進み増収増益。
- 医療費用保証、介護費用保証においても前年同期比で成長したことも貢献した。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)・営業利益率



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

IT事業

FY2025.3 | Q2

YoY(%)

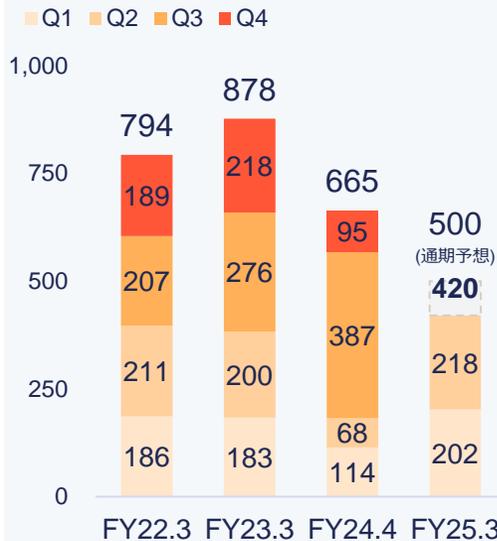
売上高

420 百万円 (+129.7%)

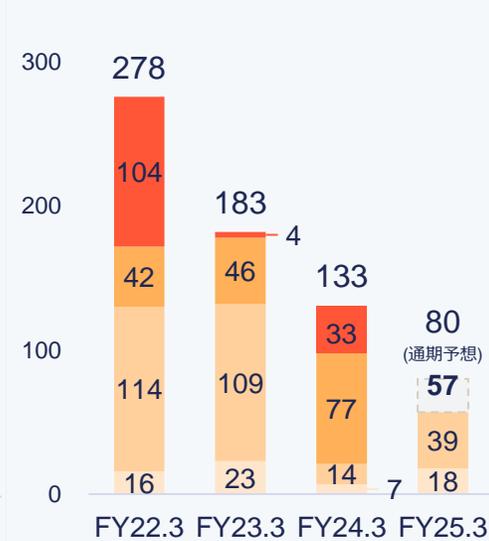
営業利益

57 百万円 (+166.1%)

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



- サプライチェーンマネジメントシステムの納品が進み、増収増益を継続。

ソーシャル事業

FY2025.3 | Q2

YoY(%)

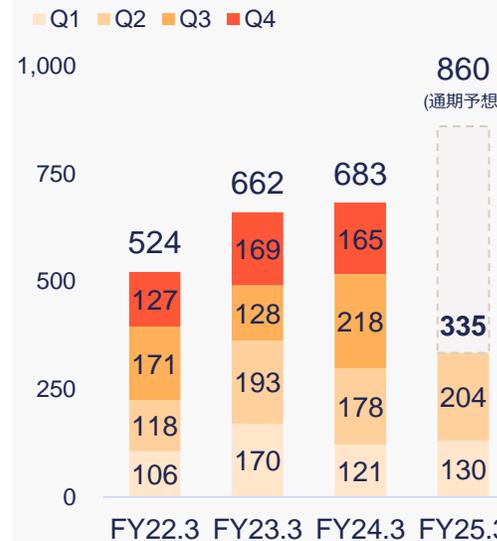
売上高

335 百万円 (+11.6%)

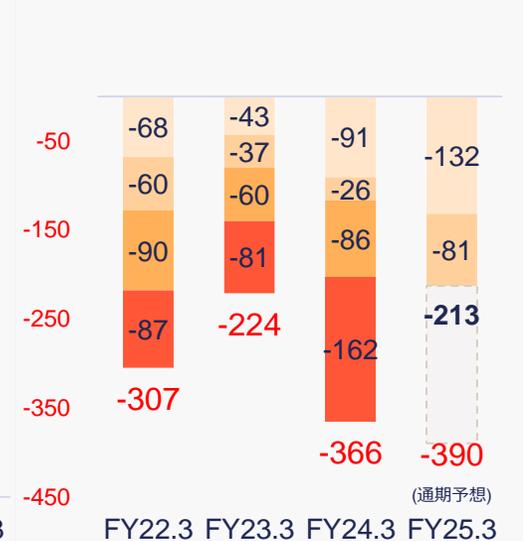
営業利益

△213 百万円 (—)

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



- 女子スポーツチーム「アランマーレ」におけるスポンサー収入等が増加した事に加え、保育事業にて新規開所及び保育定員拡大により増収。
- スポーツ事業における選手強化に伴う人件費増加、保育所の新規開設、保育人数増に伴う増員により、対前年同期比で赤字幅が増加

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。



■ 株主還元

配当方針

- 配当性向は現在の約30%から2年目までに60%程度に引き上げる。
- 第8次中期経営計画の最終年度までに総還元性向70%以上とし、株価の状況を勘案し自己株買い(上限30億円)のミックスで総額130億円の株主還元。
- 今後ROE及び配当利回りなどを再び向上させ魅力ある投資対象とするため、収益はもとより、還元策を拡大。

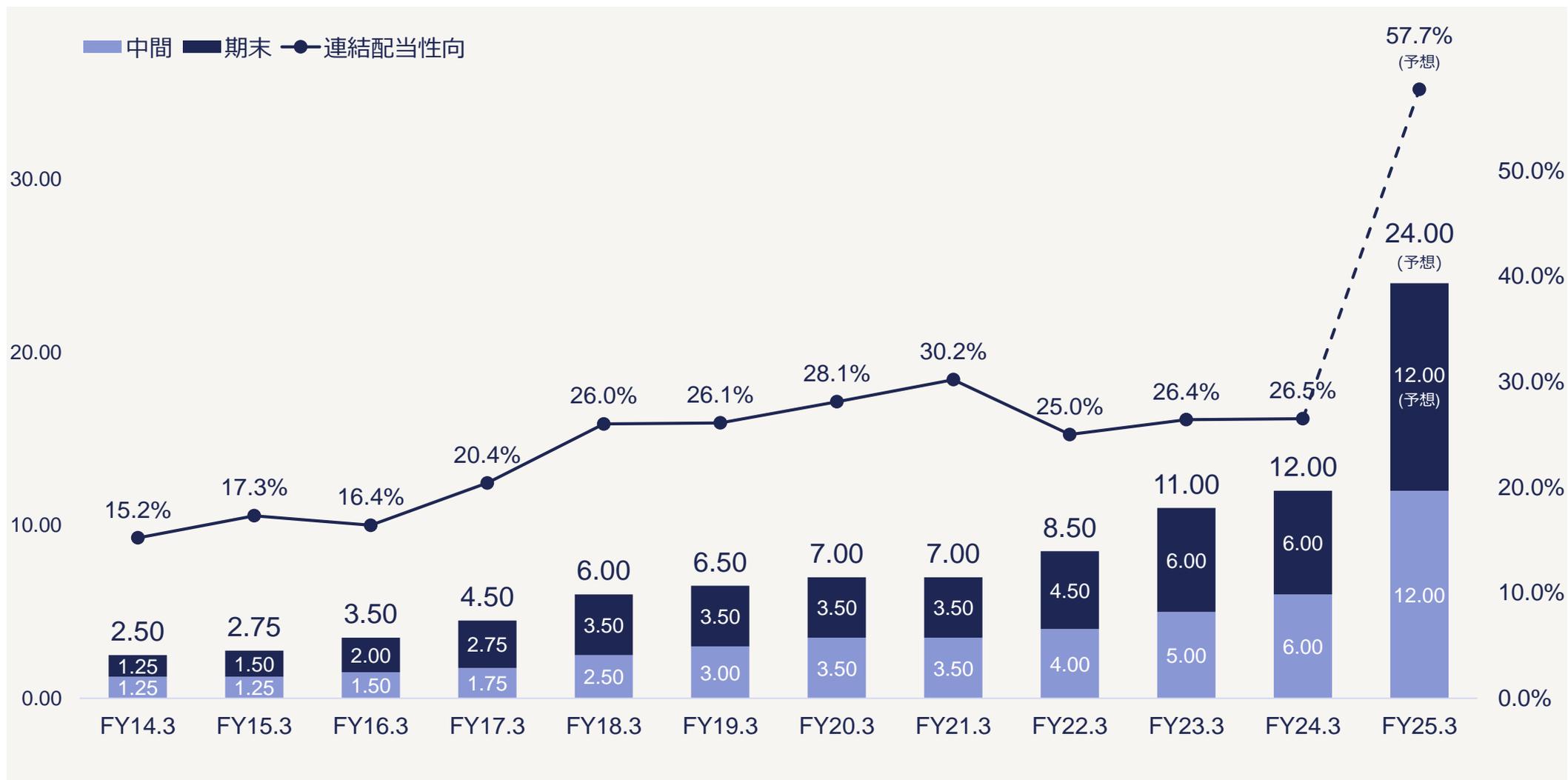
配当性向：FY2026.3までに60%以上

総還元性向：FY2027.3までに70%以上

		中間	期末	合計	連結 配当性向	総還元性向
FY2024.3 (実績)	1株当たり配当金(円)	6.00	6.00	12.00	26.5%	35.1%
	配当額(百万円)	768	764	1,532		
FY2025.3	1株当たり配当金(円)	12.00	12.00 (予想)	24.00 (予想)	57.8% (予想)	—
	配当額(百万円)	1,530	1,530 (予想)	3,060 (予想)		

株主還元 | 配当による還元

(円)



2019年10月1日に、株式を1株につき2株の割合で株式分割を行っており、配当金は、株式分割遡及適用後の数値を記載しております。



■ サステナビリティ

ダイバーシティ推進プロジェクト

当社では、全従業員が安心して生き活きと働ける環境を創造し、地域社会に貢献することを重要な基本戦略と位置づけております。2018年に発足した女性活躍推進プロジェクトから進化し、今後は個々の価値観や個性、背景を尊重し、柔軟で多様な働き方の実現を目指します。

■ 前中期経営計画期間のふり返りと課題

前中期経営計画期間は『女性管理職比率50%』を目標に掲げ、人事制度の整備等に取り組んだ結果、女性管理職比率は2024年3月末時点で40.9%*に到達しました。目標は未達となったものの、女性部長職の比率も向上し、着実な成果が表れております。

一方で2023年度に実施したミドルマネジメント層の女性従業員368名との面談結果を受け、ジェンダーギャップやアンコンシャス・バイアスの解消等の課題が顕在化してきました。

* 対象：プレステージ・インターナショナルの従業員
【ご参考】2021年3月末時点女性管理職比率：31.4%

■ 今後の施策について

施策①

アンコンシャス・バイアスを解消するための全従業員向けの意識改革プログラム、リーダーシップ研修の実施

施策②

ミドルマネジメント層に対するメンタリングやサポート体制の強化

施策③

柔軟で多様な働き方を実現できる制度の整備



健康経営プロジェクト

当社では、明るく健やかに働くことができる環境づくりのために、代表取締役のもと、人事統括部門・経営統括部門を事務局として健保組合及び各BPO拠点等と連携し、経営課題解決に向けた健康経営の取り組みを推進しています。

■ 前中期経営計画期間の振り返りと課題

各BPO拠点や女子スポーツチーム「Aranmare(アランマーレ)」を主体に、カフェテリアを活用した健康メニューの提供や、学生向けの食育活動などの取り組みを実施してまいりました。全体としての定量データの収集・分析が課題であるため、新たなKPI及び戦略マップの策定を進めております。

■ 2026年度までの目標

- ・ 喫煙者率：15%以下 (2023年度：22.6%)
- ・ BMI普通体重維持者率：68%以上 (2023年度：59.4%)

■ 今後のロードマップ

1年目 | 2024年度

セミナーやイベントを通じ、従業員の健康リテラシー向上に向けた基盤構築を行う。

2年目 | 2025年度

アランマーレと連携した施策やゲーム性のあるイベント開催により、従業員の健康習慣定着を目指す。

3年目 | 2026年度

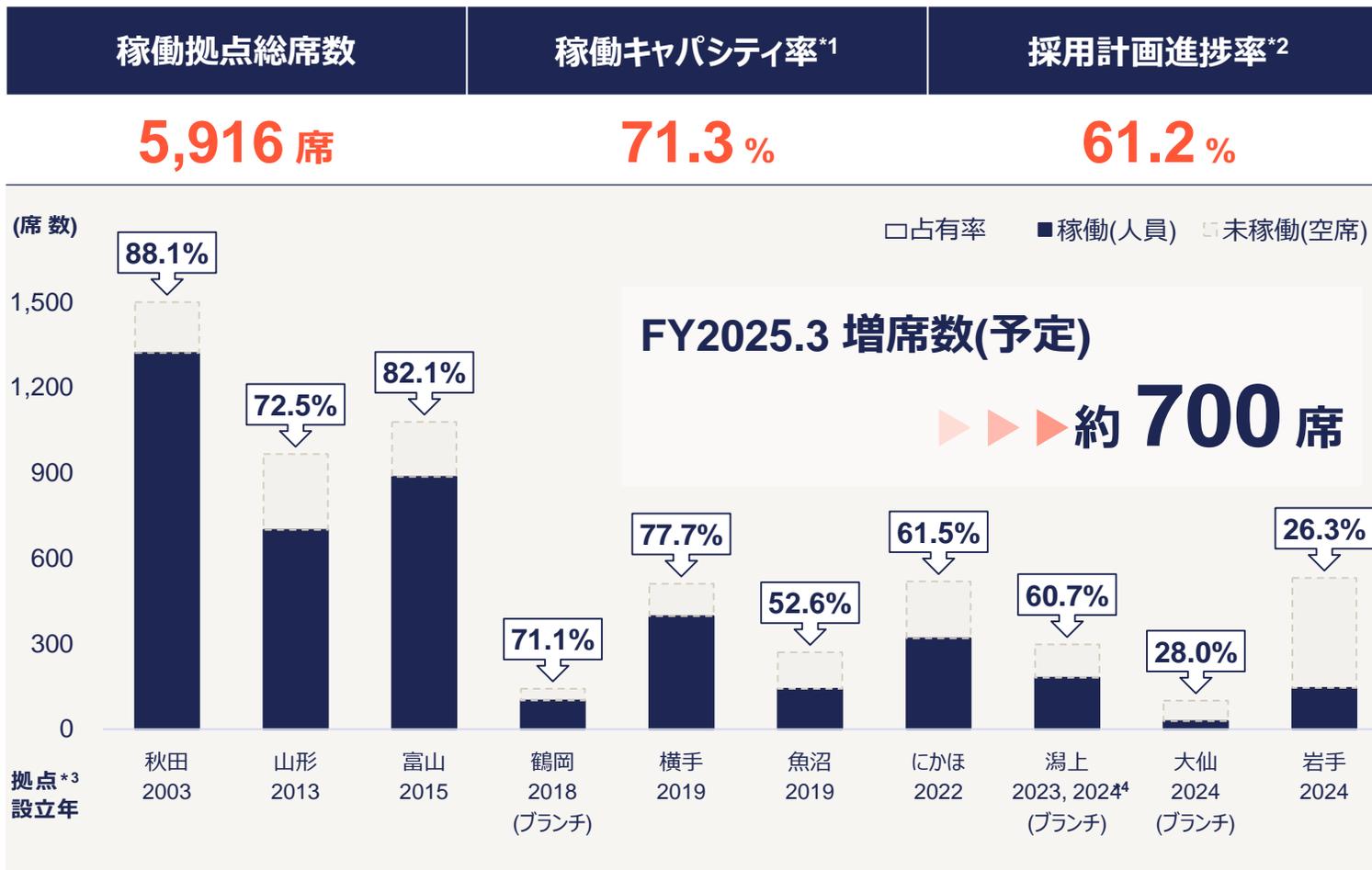
1・2年目の取り組みを継続するとともに、次年度以降に向けた新たな目標設定のための効果測定・分析を行う。





Appendix

成長余力の創出に向けた取り組み | 国内BPO拠点稼働状況 (2024年9月末時点)



受託能力向上に向けた施策

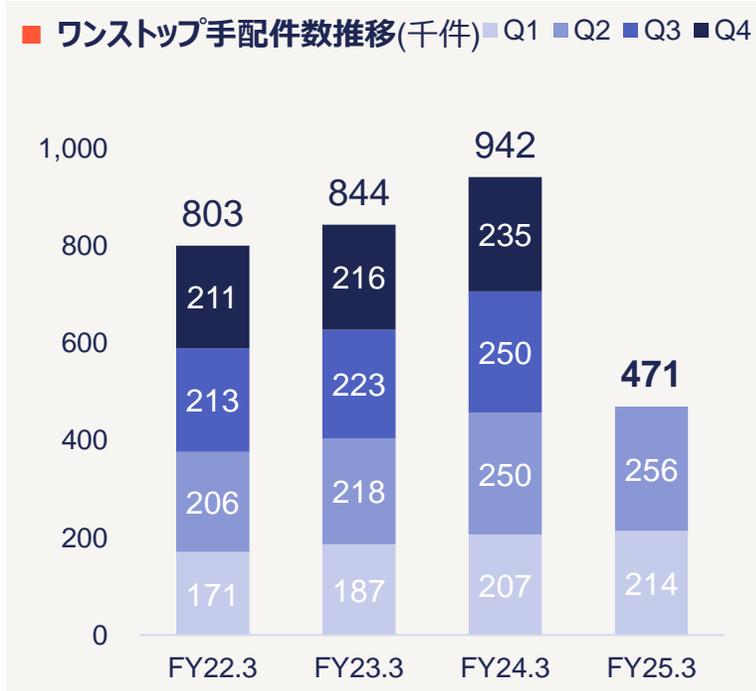
- 機動的な拠点*3展開**
 - 岩手 (約500席) ※純増は約430席
 - 大仙 (約100席)
 - 潟上 (約170席)
- WEB化による入電量抑制**
 - Webサイト構築等によるオムニチャネル受付体制を促進、入電量を抑制
 - Web Real-Time Communicationを活用し、オンラインサポートを提供
- AI活用による品質向上**
 - 新入社員の研修・評価へ導入し、オペレーター育成期間の短縮
 - 自動車・海外旅行の損害保険査定業務への活用に向け検証中
- リソース活用による効率化**
 - 業務毎の繁忙期・閑散期やオペレーションスキルのデータ化、インセンティブ制度の整理を進め、チーム間の人員補完体制を構築

*1 在職者(派遣を含む)/席数

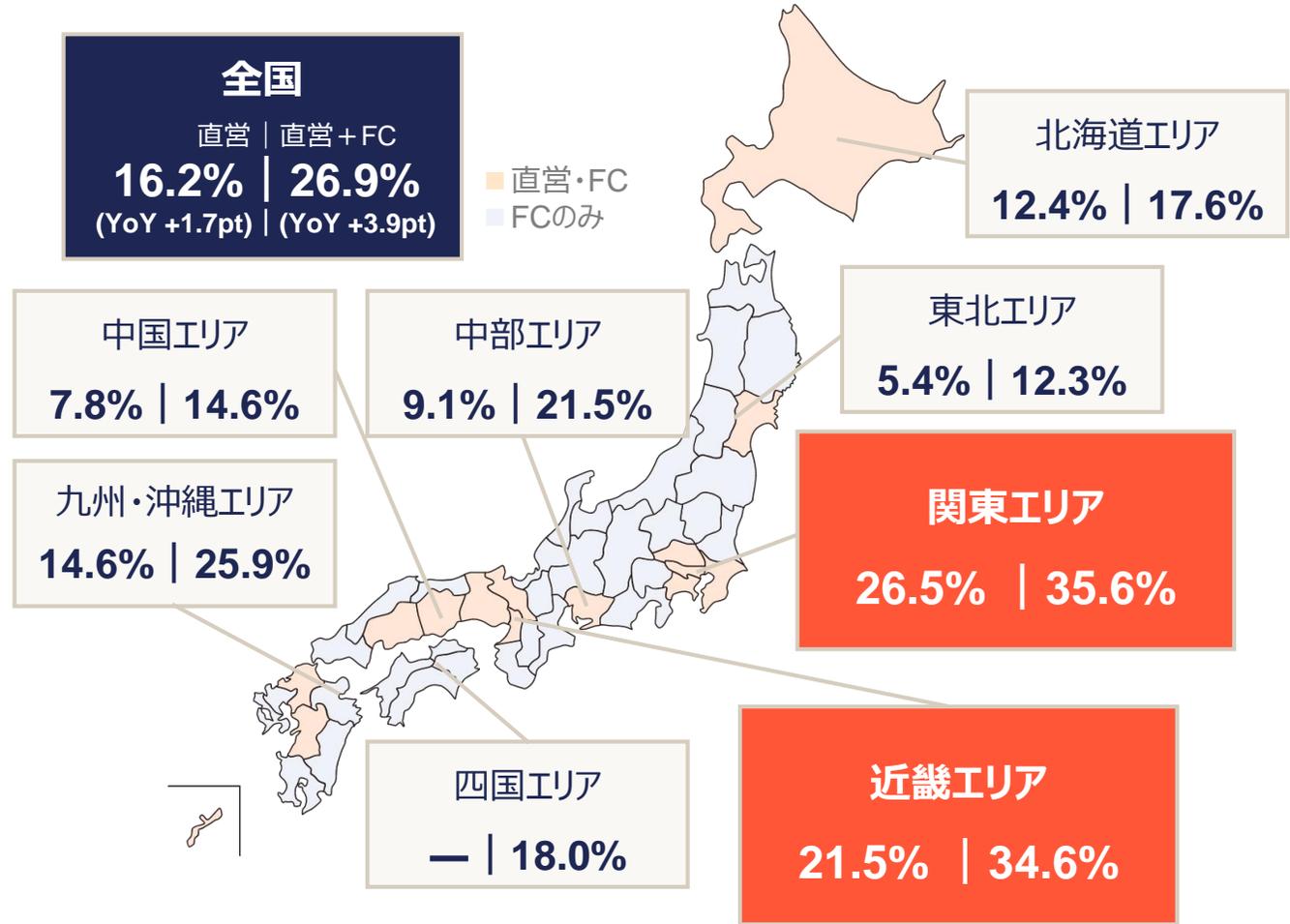
*2 事業部からの必要人員数に応じた採用進捗率 ※期中に母数(事業部からの必要人員数の申請)が増える可能性があります。

*3 拠点名は地域名にて省略して掲載しております。

*4 秋田BPO潟上ブランチは、2023年に開設した第一オフィスと2024年に開設した第二オフィスの合算となります。



PREMIER Assist 直営及びフランチャイズ(FC)出動割合



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

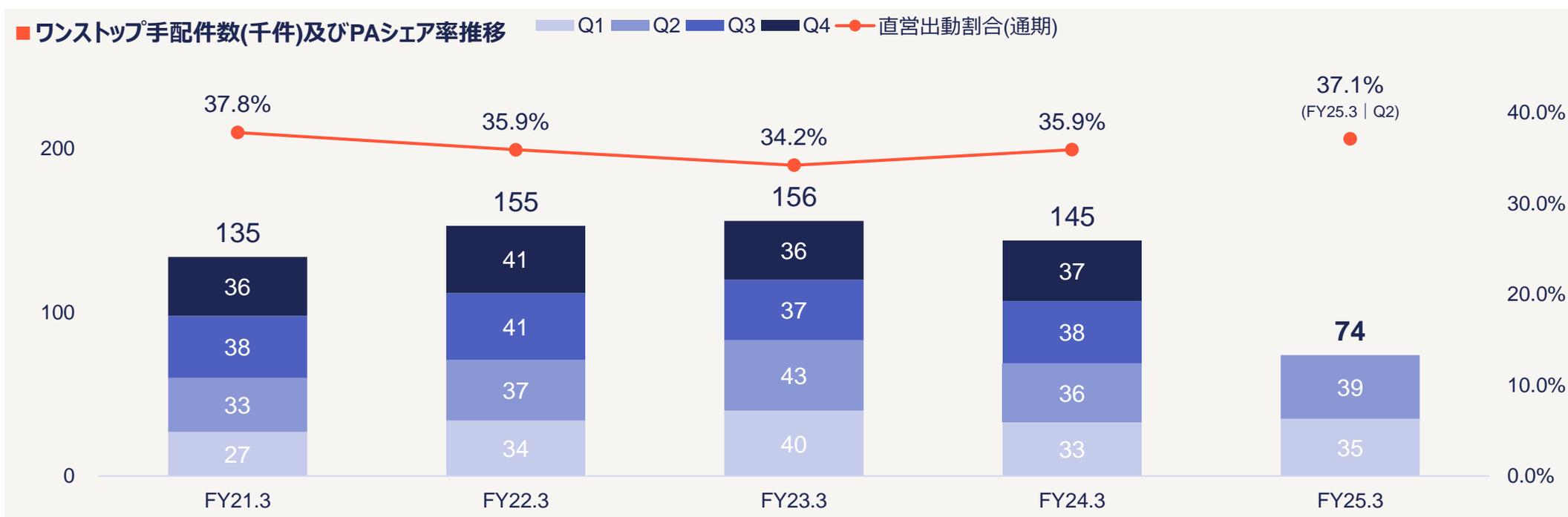
PREMIER Assist ロードアシスト	FY2022.3	FY2023.3	FY2024.3	FY2025.3 Q2	FY2025.3 (計画)
PREMIER Assist 直営拠点数	31	31	34	34	37
PREMIER Assist FC加盟社数	63	85	107	112	119
うちEV用ポータブル充電器配備社数	—	—	73	75	79
PREMIER Assist 直営拠点人員数	235	254	278	294	318
PREMIER Assist 直営保有車両数	210	222	236	257	266
レッカー車	51	56	68	70	74
うちEV給電可能なレッカー車	2	45	56	58	62
積載車	72	80	79	94	99
サービスカー	78	78	85	89	89
特車(バイク専用車両)	2	2	0	0	0
バイク	7	6	4	4	4

FY2025.3 | Q2

手配件数 74,735 件

YoY(%) (+6.9%)

PREMIER Assist ホームアシスト	FY22.3	FY23.3	FY24.3	FY25.3 Q2	FY25.3 (計画)
拠点数	14	14	14	15	16
人員数	129	136	141	153	171



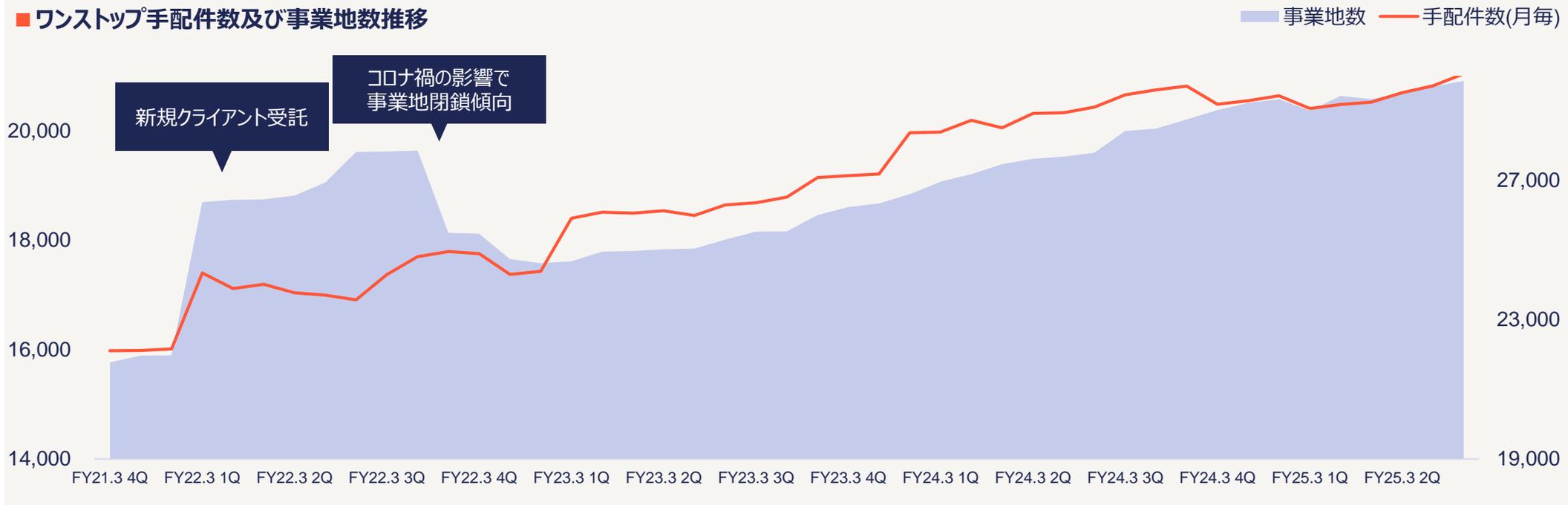
表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

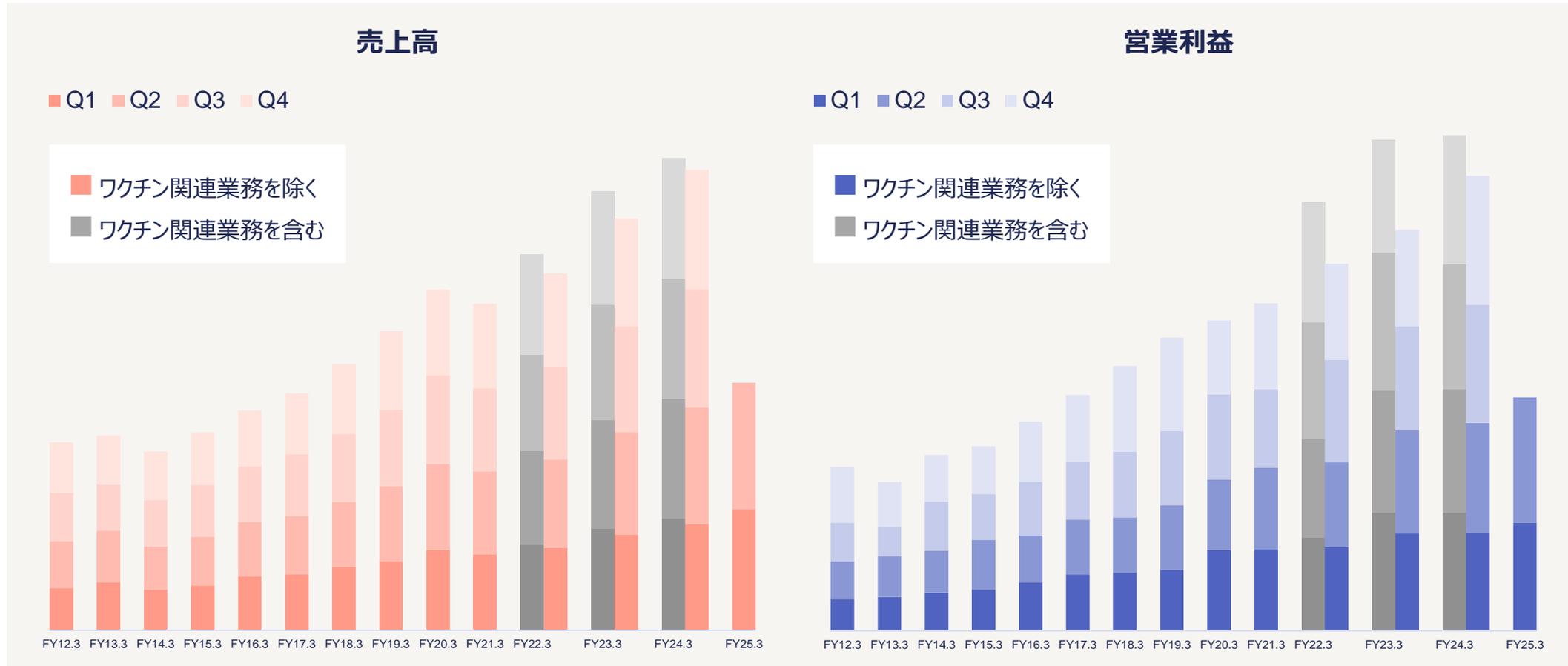
FY2025.3 | Q2

手配件数 176,845 件

YoY(%) (+2.4%)

PREMIER Assist パークアシスト	FY22.3	FY23.3	FY24.3	FY25.3 Q2	FY25.3 (計画)
拠点数	11	11	10	11	12
人員数	247	263	264	260	300





- 既存事業にて堅調に推移
- FY2025.3 Q2におけるワクチン関連業務を除いた前年同期比 ▶ 売上高：+11.2% | 営業利益：+12.3%

本ページの記載事項につきましては、財務経理部門及び公認会計士又は監査法人の監査の対象外であり、IR上の参考情報となります。

直近のニュースリリース *抜粋

リリース日	タイトル	関連する事業	SDGs
2024.07.03	富山BPOタウン「男女共同参画推進事業所」認定のお知らせ		
2024.07.17	「岩手BPOフォートレス」落成披露式典を開催		
2024.08.30	ブラジル現地法人における保険販売事業開始および社名変更のお知らせ		
2024.09.13	青森県三沢市へ進出決定 ～三沢ブランチ(仮称) 開設にあたり県および市と基本協定締結式を実施～		

ニュースリリースは[こちら](https://www.prestigein.com/whats/)からご覧いただけます ▶▶▶
(<https://www.prestigein.com/whats/>)



本資料の取り扱いについて

本資料は当社をご理解いただくための情報提供を目的としており、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の予想に関する記述等につきましては、現時点における目標や予測に基づき判断したものであり、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績の数値、結果、パフォーマンス等は、現時点における将来の予想と異なる結果となる可能性がある点をご確認の上、ご利用ください。

本資料に記載された将来の事項は、経済情勢及び市場環境や当社グループの関連する業界動向の変化、その他内部・外部要因等により予告なく変更することがあります。

IRニュース配信サービス

プレステージ・インターナショナルの最新情報やニュースリリースなどを、
ご登録いただいた皆様に電子メールにてお知らせするサービスです。
この機会にぜひご登録ください。

ご登録はこちらから▼

IRニュース配信サービス登録

二次元バーコードからのご登録いただけます▼





PRESTIGE INTERNATIONAL